

令和7年9月吉日

保護者様

長崎市立西泊中学校
校長 松本 結花

学力調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。日頃より、本校教育に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、1学期に行われました学力調査の結果と今後の改善策について報告いたします。教職員一同、今後も生徒たちの学力向上に取り組んでまいります。

1 学力調査について

実施日

令和7年4月17日（木）

調査内容

全国学力調査	対象：3年生	教科：国・数・理・生徒質問紙
県学力調査	対象：3年生	教科：英
	対象：2年生	教科：国・数
市学力調査	対象：1年生	教科：国・数

2 学力調査の結果について

【全国学力学習状況調査（3年）】

国語

<p>全国平均を上回っている項目 なし</p> <p>全国平均よりも下回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none">● 知識・技能● 話すこと・聞くこと● 書くこと● 読むこと	<table border="1"><caption>国語の学力調査結果（西泊中 vs 全国）</caption><thead><tr><th>項目</th><th>西泊中</th><th>全国</th></tr></thead><tbody><tr><td>言葉の特徴や使い方に関する事項</td><td>45</td><td>48</td></tr><tr><td>話すこと・聞くこと</td><td>48</td><td>52</td></tr><tr><td>書くこと</td><td>45</td><td>50</td></tr><tr><td>読むこと</td><td>55</td><td>60</td></tr></tbody></table>	項目	西泊中	全国	言葉の特徴や使い方に関する事項	45	48	話すこと・聞くこと	48	52	書くこと	45	50	読むこと	55	60
項目	西泊中	全国														
言葉の特徴や使い方に関する事項	45	48														
話すこと・聞くこと	48	52														
書くこと	45	50														
読むこと	55	60														
<p>特に全国平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>資料等から読み取ったことについて、自分の考えを根拠を明確にしながら記述する問題。文章の構成や展開を理解したことについて、根拠を明確にして考えて記述する問題。また、この二問に関しては、無解答率も高かった。</p>																
<p><改善策></p> <p>授業の中で、音読や資料の見方を重点に置いた指導を行い、文章の内容や資料等を正確に読み取る力を身に付けさせる。また、読み取ったことを基に自分の考えを書く活動を授業の中で日常的に取り組み、考えの示し方の指導を行いながら、記述問題に対する抵抗感も軽減していく。</p>																

数学

<p>全国平均を上回っている項目 なし</p> <p>全国平均よりも下回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 数と式 ● 図形 ● 関数 ● データの活用 	<table border="1"> <caption>数学科目の得点比較</caption> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>西泊中</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>35</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>40</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>35</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	科目	西泊中	全国	数と式	35	45	図形	40	48	関数	35	48	データの活用	55	60
科目	西泊中	全国														
数と式	35	45														
図形	40	48														
関数	35	48														
データの活用	55	60														
<p>特に全国平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題」「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する問題」において正答率が低く、無解答率も高い結果となった。数学用語を用いて説明する力が求められる問題において課題が見られた。</p>																
<p><改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習、グループ学習を通して教え合い活動を充実させ、基礎・基本の定着を図る。 ・証明に必要な定理、条件などの定着を図るため、問題集やキュービナを活用し復習を徹底する。 ・根拠を明確にして自分の考えを表現する能力の向上をめざす。 																

理科

<p>全国平均を上回っている項目</p> <p>○「エネルギー」(物理分野)を柱とする項目</p> <p>全国平均よりも下回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「生命」(生物分野)を柱とする項目 ●「地球」(地学分野)を柱とする項目 	<table border="1"> <caption>理科分野の得点比較</caption> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>西泊中</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー</td> <td>35</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>粒子</td> <td>35</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>生命</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>地球</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>知識</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>活用知識</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>技能</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>分析解釈</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>構想</td> <td>40</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>検討改善</td> <td>40</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	分野	西泊中	全国	エネルギー	35	40	粒子	35	40	生命	15	20	地球	15	20	知識	45	50	活用知識	25	30	技能	55	60	分析解釈	25	30	構想	40	45	検討改善	40	45
分野	西泊中	全国																																
エネルギー	35	40																																
粒子	35	40																																
生命	15	20																																
地球	15	20																																
知識	45	50																																
活用知識	25	30																																
技能	55	60																																
分析解釈	25	30																																
構想	40	45																																
検討改善	40	45																																
<p>特に全国平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>「化学反応を化学式やモデルを使って表現する問題（化学反応式）」や「現象や情報から分析し、判断する問題」の正答率が低かった。また、知識を活用・応用する問題で課題が見られた。</p>																																		
<p><改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだ科学的知識を多面的・多角的な見方で実生活とつなげる取組を増やす。 ・観察、実験結果の情報を、知識を活用して正しく分析、表現できる力を実験レポート等で身に付けさせる。また、結果・結論を疑う視点を忘れないよう助言していく。 																																		

【長崎県学力調査（2年）】

国語

<p>県平均を上回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識及び技能 ○話すこと・聞くこと ○書くこと ○読むこと <p>県平均よりも下回っている項目</p> <p>なし</p>	<table border="1"> <caption>国語の各項目の得点比較</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>西泊中</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識及び技能</td> <td>80</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>55</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>68</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	項目	西泊中	県	知識及び技能	80	75	話すこと・聞くこと	55	48	書くこと	48	48	読むこと	68	65
項目	西泊中	県														
知識及び技能	80	75														
話すこと・聞くこと	55	48														
書くこと	48	48														
読むこと	68	65														
<p>特に県平均に比べ正答率が低かった問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の変化が分かる行動を抜き出す。(差-5.5ポイント) <p>上記設問以外、県の平均正答率を全て上回った。</p>																
<p><改善策></p> <p>登場人物の心情理解のために、言動に着目しながら読むことに重点を置いた指導を行う。また、自分の考えと他の考えを比較する等の協働的な学びを取り入れながら、作品の内容や筆者の意図を捉える活動に取り組んでいく。</p> <p>言動を適切に捉えるために、熟語や語句の学習を行い、語彙を豊かにしていく取組を行う。</p>																

数学

<p>県平均を上回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図形 ○関数 ○データの活用 <p>県平均よりも下回っている項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●数と式 	<table border="1"> <caption>数学の各項目の得点比較</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>西泊中</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>55</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>50</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>48</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>60</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	項目	西泊中	県	数と式	55	58	図形	50	45	関数	48	42	データの活用	60	48
項目	西泊中	県														
数と式	55	58														
図形	50	45														
関数	48	42														
データの活用	60	48														
<p>特に県平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>「与えられた6個の数から自然数をすべて選ぶ問題」「75°の角を作図する方法を説明する文を完成させる問題」において誤答が多く見られた。また「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題」において、無解答率が高かった。語句の意味を理解し解法を説明する力や、既習の基本的な内容を具体的な場面で活用する力が求められる問題において、課題が見られた。</p>																
<p><改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学用語は、授業の中で繰り返し復習し、言葉の意味を定着させる。 ・作図の方法は、垂直二等分線と角の二等分線の作図を全員ができるように指導し、それらを用いて様々な角度の作図方法に取り組ませる。 ・授業の中で、また課題に取り組む中で、根拠をもって説明できるよう指導していく。 ・キュビナやワークを利用し、数多くの問題に触れる機会を増やすことで、思考力の向上をめざす。 																

【長崎県学力調査（3年）】

英語

<p>県平均を上回っている項目</p> <p>○聞くこと</p> <p>県平均よりも下回っている項目</p> <p>●読むこと</p> <p>●書くこと</p>	<table border="1"> <caption>英語技能別正答率比較</caption> <thead> <tr> <th>技能</th> <th>西泊中</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聞くこと</td> <td>70</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>45</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>話すこと</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	技能	西泊中	県	聞くこと	70	68	読むこと	45	48	話すこと	20	30	書くこと	20	30
技能	西泊中	県														
聞くこと	70	68														
読むこと	45	48														
話すこと	20	30														
書くこと	20	30														
<p>特に県平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>語順を整理して英文を書く活動に弱い。特に、意見文の要点を把握し、自身の考えと理由を記述する問題や、コミュニケーションの目的に応じて表現を使い分ける問題に大きな課題が見られる。</p>																
<p><改善策></p> <p>意見文の問題は、要点の把握と論理的な文章構成力が必要となる。日頃から、筆者の主張と根拠を分析して読んだり、自分の考えを客観的に整理し表現したりする意識を持たせる。表現の問題は、場面に応じた適切な言葉遣いや言い回しを学ぶことが大切である。具体的な状況を想定し、「誰に何のために」話すのかを意識しながら練習させる。</p>																

【長崎市学力調査（1年）】

国語

<p>全国平均を上回っている項目</p> <p>○読むこと</p> <p>全国平均よりも下回っている項目</p> <p>●知識及び技能</p> <p>●話すこと・聞くこと</p> <p>●書くこと</p>	<table border="1"> <caption>国語技能別正答率比較</caption> <thead> <tr> <th>技能</th> <th>西泊中</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識及び技能</td> <td>65</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>40</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>62</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	技能	西泊中	全国	知識及び技能	65	68	話すこと・聞くこと	55	60	書くこと	40	58	読むこと	62	60
技能	西泊中	全国														
知識及び技能	65	68														
話すこと・聞くこと	55	60														
書くこと	40	58														
読むこと	62	60														
<p>特に全国平均に比べ正答率が低かった問題</p> <p>《書くこと》が極めて低かった。資料から読み取ったことを、条件に沿って作文するという問題だった。</p>																
<p><改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の授業から書字が遅いので、視写を授業や家庭学習に取り入れる。 ・ 単元を貫く言語活動として、書く活動を重点的に取り入れる。 ・ 書く学習の時には、モデル文を提示して目指すゴールを明確にする。 																

数学

全国平均を上回っている項目

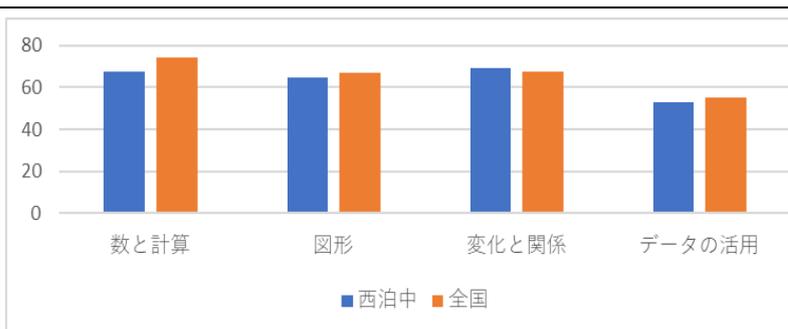
○変化と関係

全国平均よりも下回っている項目

●数と計算

●図形

●データの活用



特に全国平均に比べ正答率が低かった問題

「異分母分数の減法の計算問題」や「分数÷分数の計算問題」、「線対称な図形の対応する点を見つける問題」などで誤答が多く見られた。

<改善策>

- ・授業中に基本的な計算の解き方（特に分数）を繰り返し確認し、キュービナなどを活用して定着をはかっていく。
- ・図形の種類や特徴、性質や公式などの定着を図るため、問題集やキュービナを使って、個々の理解度を確認しながら個別最適な学びの充実を図る。